

苫 企 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

苫前町長 森 利 男



今後の道路行政についての意見・提案書の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号に通知ありました標記の件について、別添のとおり意見・提案書を提出いたしますので、よろしくお取計らい願います。

住 所：〒078-3792

北海道苫前郡苫前町字旭37番地の1

担 当 者：企画振興課（平井）

電話番号：0164-64-2212(内線206)

F A X：0164-64-2142

メー ル：hirai,koki@town.tomamae.lg.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道苫前郡苫前町

○採択基準の緩和について

- ・現行の採択基準である費用対効果(B/C)の考え方について見直し、緩和の検討及び地域性や自主性を考慮にした制度とすべきである。

＝道路は、地域経済の向上や生活の利便性を実現する上で、最も重要な基本的な社会資本であるため、短期的な費用対効果にとらわれることなく、迂回路の無さや高度医療施設までの時間距離など、地域の実情にそった評価も考慮すべきである。

○維持補修に対する制度化について

- ・地域の実情を考慮した補助制度の構築をすべきである。

＝道路整備に限らず維持管理における歩道補修、路面補修、側溝整備等補助制度の確立

○交通安全対策・防災対策について

- ・交通事故防止のため、歩道の整備等による交通安全の確保が必要である。
- ・高波等(大雨を含む)による交通止めが発生しており、災害に強い道路整備が急務である。

○道路管理者間の連携・役割分担について

- ・円滑な交通体系の確立に向け、関係機関(国・北海道・市町村)の更なる連携・協力が必要である。

○除排雪・冬季交通確保について

- ・冬季の安全確保のため、雪寒対策事業などによる道路整備が必要である。
- ＝郊外部における視程障害等による通行止めは、経済活動を始めとする生活の停滞を招く

○医療・福祉について

- ・高次医療施設を備える都市とのアクセス強化等を図ることは喫緊の課題である。
- ・重症患者の救急搬送体制の支援が図られる道路整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道苫前郡苫前町

○現状	○課題
○道路維持管理について ・財源不足、財源確保に苦慮 = 財源不足のため、舗装補修などを町職員等で行っており、除雪費を含め、財源確保に苦慮しているところである。 ・除排雪・冬期交通の確保に苦慮 = 除排雪は、地域の生活に大きく関わるので、除雪水準を下げられない。 ・流雪溝設置路線(古丹別地区)の空洞化 ○交通安全対策・防災対策について ・大雨による交通止め(国道232号線=110ミリ・国道239号線=80ミリ)が発生している。 ○除排雪・冬期交通確保について ・冬期には、管内の道路が通行止めとなる。 * 高次医療施設を備える都市とのアクセス、重症患者の緊急搬送体制の確立を図るために、上記2項については重要な案件である。	○道路管理に対する地方交付税が町全体の財政難のため、一般財源化され、道路整備・維持管理等の必要な措置が難しい。 ○冬期間の道路交通確保は、当町において道路行政の最重要施策であり、財源不足のなか、効率的な除雪体制づくりが求められている。 ○高次医療施設を備える都市とのアクセス、重症患者の緊急搬送体制が求められている。

○第4次苫前町総合振興計画・前期計画（平成18年度～平成22年度）において、苫前町の将来像として、ふるさとの誇りと希望を育むまち（生活環境基盤）・一人ひとりが生き生きと輝く元気なまち（健康・福祉・教育・文化、コミュニティ）・地域の各産業が多岐にわたって連携し、チャレンジする力をつけるまち（産業）の3つの構成から、まちづくりを推進しており、道路行政関係については、まちづくりの施策の大綱として、「住みよい町の快適計画」に網羅されているところである。

* 道路行政関係については、次のとおりである。

（道路・交通関係について）

○安全で利便性のより快適な道路計画づくりを基本とし、地域の特性に合わせた国道、道道の整備を要望するとともに、町道などについても計画的に整備を進めるものとする。

○快適な道路環境づくりを推進するために、地域住民と行政等が連携した道路維持管理などの取り組みに努めるものとする。

○生活路線バスの維持については、その運行体制の充実を推進する。

（上記の基づく施策について）

○道路整備の促進

＝国道・道道・町道などの整備促進

○快適な道路環境の整備

＝地域のボランティアによる冬の快適な歩行空間の創出への支援（ボランティア・サポート・プログラムへの支援）

＝歩道の清掃や美化など道路の維持管理における住民参加への支援とパブリックインボルブメントの充実

＝シーニックバイウェイ北海道に伴う「萌える天北オロロンルート」の支援

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	道道＝羽幌原野古丹別(停)線 ・歩道新設 L＝1, 470m	羽幌町と古丹別市街地を連絡する一部通学路の区間路線であり、歩行者の安全と円滑な車輛通行が図られる。	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	道道＝苫前小平線 ・道路改良 L＝5, 500m	苫前町三溪地区から小平町に通じる路線であるが、当該区間の整備により、農産物流通ルート及び緊急災害時の代替路線として、期待できる。	
	道道＝苫前小平線 国道＝国道239号線 ・携帯電話不感地区の解消に向けての連携	急病や故障などによる緊急事態時に対応することが可能となり、町民やドライバー等の利用者の安全・安心感が向上する。	
	防雪対策 ・地吹雪地区での防雪対策	冬期通行止めの解消により、物流の停滞を無くし、町民の生活向上が図られる。	